

マーマフーズの 食卓彩菜

マーマフーズ代表の伊藤です。

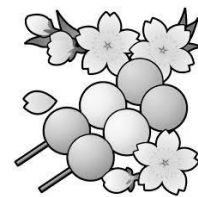
この度は、「毎日のお惣菜」頒布会をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

お客さま方の食卓に彩を添える季節の旬のお惣菜を、今年もひと品ひと品、まごころを込めてお届けいたしますので、味付けやメニュー、サービス等についてお気づきの点がございましたら、同封のはがきなどで、何なりとご意見を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

前回に引き続き東日本大震災で当日のお話をしたいと思います。

震災の翌朝にホテルから上野駅に行きました。復旧のメドはたっておりませんと言われて、初めてこれは長引きそうだなと感じました。とにかく早く帰ろうと思ってホテルをチェックアウトしてきた自分の後悔しました。

急いでホテルを探して、会社や自宅に電話しましたが、まだ繋がらない状態が続いておりました。「とにかく帰ろう」



Vol.18
平成 27 年 4 月号

と色々探してみました。レンタカーは全社とも宇都宮以北は貸出できませんと言われ、バスやフェリーも欠航してメドがたちませんとの返事でした。ダメ元だと思いつつもネットで飛行機を見たところ、偶然にも二日後の秋田空港の空きがあり、すぐ申込みました。

秋田空港には家内に迎えにきてもらいましたが、北上からの高速道路の反対車線には自衛隊の隊列がずくと続いていて戦争かなと思うくらいびっくりましたと言っておりました。後に、北海道方面と大阪、関西方面からの支援の部隊が秋田港に到着し、被災地に向けて移動中の隊列だったと知りました。

会社に戻ると、地震の被害は少ないとの報告を受けていたのですが、電気が復旧してから稼働させてみると受水槽タンクと配管の水回りが損壊して水が使えない状態でした。

これは復旧までにはかなり時間がかかるなと思っていた矢先に、知人から関東からの支援の物資を被災地に直接届けてほしいとお願いされました。支援物

資を支援センターに届けても、まだ被災地まで届いていないのが実情でした。

被災地を考えると断ることなど出来ないと思ひ、帰社した翌日に会社のトラックのガソリンをなんとか手配し、東京からの車の荷物を載せ替えて、遠野で被災現場を知っている人を乗せ、全滅したと言われた大槌町に向かいました。

その時に支援に行っている人から、飴と飲み物を持っていく様に言われたのですが、飴を舐めながらでは不謹慎だろうと断りました。しかし、現地に行つて初めて言われた事が理解できました。あまりの光景に喉が渇いてくるのです。

遠野から釜石の町に入っても変化はあまりなかったのですが、釜石駅を過ぎたとなん、風景が一変しました。

建物が壊滅して瓦礫に埋もれているのです。釜石港の有名な巨大防波堤はなくなっており、陸には大きな貨物船が揚がっております。(次回に続く)

「食べて健康に」をモットーに、今後とも美味しい手作りの惣菜をお届けする事で、皆様の健康づくりのお手伝いをさせていただきますよう頑張ります。

引き続きご愛顧の程、宜しくお願い申し上げます。



頑張れ新人！就活解禁…盛岡短大企業見学会(1月)

花巻だより

4月と言えば、何事も新しくスタートする月！というイメージがありますね。弊社の従業員の子供さんの中にもピカピカの1年生♪も…もちろん、弊社にもピカピカの新入社員も入ってまいりました。ピカピカに輝かせていけるように、私達先輩従業員も指導に当たらなければと身の引き締まる、そんな思いもする4月です。先月3月から今年度の就職活動(以下、就活)が解禁になりました。前年度までは12月解禁でしたが「大学生は学業を優先すべき」といった政府要請に経団連が応える形で就活時期を繰り下げられました。学生も企業側も混乱が生じない事を祈ります。

就活に対しての情報には、学生さんの方が対応力はあるのかもしれませんが。今年の1月には岩手県立大学短期大学の学生さんの企画で企業見学会のコースに弊社を選んでいただき、24名の学生さんが来社致しました。弊社の社長と盛岡短大卒業生(栄養士)の従業員が会社概要等を話し、工場見学、商品の試食もしていただき、弊社を知っていただく機会を設けて頂きました。次に繋がる人材の確保は、どの企業でも望んでいる事だと思います。また、就活をする学生さんは、より自分の希望する職種・会社、自分を活かせる企業選びに奔走するのでしょうか。自分の就活の時(ン十年前?)の事を少し思い出しながら、入ってきた新人社員と同じように学生さんたちにもエールを送りたいですね。ファイト～！